

中津川都市計画土地区画整理事業の決定（中津川市決定）

都市計画リニア岐阜県駅周辺土地区画整理事業を次のように決定する。

名称	リニア岐阜県駅周辺土地区画整理事業		
面積	約 21.6 ha		
公共施設の配置	道	種別	名称
		幹線街路	3・5・19 リニア岐阜県駅停車場線
			3・5・20 中洗井線
			3・6・21 坂本西通線
			3・4・22 リニア岐阜県駅北口通線
	<p>これらについては、別に都市計画において定めるとおりとする。</p>		
路	<p>3・5・19 リニア岐阜県駅停車場線に駅前広場を設ける。 3・4・22 リニア岐阜県駅北口通線に駅前広場を設ける。</p>		
	<p>配置方針 (1) 配置 上記都市計画道路を基幹とし、幹線道路からのアクセスを考慮するとともに、沿道の有効かつ効果的な土地利用を図るよう区画道路を配置する。 (2) 標準幅員 道路の断面構成に配慮し、主要な区画道路は、W=10.0m、8.0m、7.0m、6.0m とする。</p>		
公園及び緑地	<p>公園計画では、計画人口 1 人当たり 3 m<sup>2</sup>以上かつ地区面積の 3%以上を確保し、利用効果を考慮して計画する。中央駅前広場東側の千旦林川沿いに岐阜県の「リニア岐阜県駅周辺整備基本計画」に位置づけられている親水公園を配置する。</p>		
その他公共施設	<p>千旦林川は、土地区画整理事業に合わせて有効な土地利用が可能となる線形に変更するとともに、将来の宅地化を見込んだ安全・安心な河川改修を目指す。 排水路は、既存の農業用水を考慮するとともに、地区内で発生する雨水を処理するため水路を計画し、整備する。</p>		
宅地の整備	<p>(仮称) リニア岐阜県駅の周辺及びリニア本線の沿線は商業・業務系、公益施設等の土地利用とし、それ以外を住居系の土地利用とする。 街区規模は、商業・業務系土地利用が想定される箇所は大街区を配置し、土地の高度利用を図る。住宅系土地利用を見込む区域は、土地利用形態に配慮した規模とする。</p>		

(理由)

本地区周辺は、平成 39 年に開業予定であるリニア中央新幹線の（仮称）リニア岐阜県駅が設置されることに伴い、岐阜県の東の玄関口として相応しいまちづくりを行うことを目的として、計画的かつ良好な市街地を一体的に整備するため土地区画整理事業を都市計画決定するものである。